

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2025 年 12 月 8 日（月）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
00Y35 8 (OY35 2)	曜日指定 HLA-A (遺伝子型タイピング)	血液 (EDTA-2Na加) 各2.0	PN2 PN5 (C)	冷蔵 (3日)	3~5		PCR-rSSO 法		凍 裏面参照
00Y36 7 (OY36 0)	曜日指定 HLA-B (遺伝子型タイピング)								
00Y37 6 (OY37 7)	曜日指定 HLA-C (遺伝子型タイピング)								
00Y38 5 (OY38 4)	曜日指定 HLA-DRB1 (遺伝子型タイピング)								

●HLA・移植関連検査の検体について

- 「O5178 9 : MLC(リンパ球混合培養)」は予約検査となりますので、採血前に必ず担当営業員にご連絡ください。
- 必ず専用容器にて規定量を採血してください。やむを得ず規定量に満たない場合は、蓋を開けて陰圧を解除してください。ただし、「O5178 9 : MLC(リンパ球混合培養)」と同時依頼の場合は、無菌であることが重要となりますので必ず規定量を採血してください。
- 移植後のHLAタイピングをご依頼の場合は、レシピエントとドナーのアレルが混在し判定できない場合がありますのであらかじめご了承ください。
〔ご注意〕
移植後のHLAタイピングをご依頼の場合は、移植前のHLAの結果と提供者のHLAの結果を必ず依頼書にご記入ください。

●HLA DNAタイピングの種類について

日本組織適合性学会のホームページにて最新情報をご確認ください。



● HLA（遺伝子型タイピング）

HLA型（血清対応型）と推定アレル（遺伝子型の第1区域および第2区域）の両方を報告するHLAタイピング検査です。

臓器移植とHLA抗原の関係は、よく研究されており、レシピエントとドナーのHLA抗原を適合させることが必要とされています。免疫抑制剤を使用している場合でもレシピエントとドナーのHLA抗原は一致しているほど移植成績が良いとされています。特に、骨髄移植において、レシピエントとドナーのHLA遺伝子型の適合性検査は、GVHD(移植片対宿主反応)を予測、回避するうえで非常に重要です。また疾患感受性HLA抗原と疾患感受性の相関については、強直性脊椎炎とB27、ナルコレプシーとDR2との相関が有名です。遺伝子レベルでは、橋本病とA*0201、A*0206、A*0207、ベーチェット病とB*5101が知られています。HLA抗原と疾患感受性の相関は、HLA抗原の構造自体が疾患感受性に影響を与える場合や、HLA抗原を決定する遺伝子と疾患感受性遺伝子とが連鎖不平衡にあること等が推測され、その他、多くの疾患について研究が続けられています。

▼疾患との関連

臓器移植
造血幹細胞移植

▼関連する主な検査項目

HLA DNAタイピング〔NGS-SBT法〕

▼検査要項

検査項目名	HLA-A（遺伝子型タイピング）／ HLA-B（遺伝子型タイピング） HLA-C（遺伝子型タイピング）／ HLA-DRB1（遺伝子型タイピング）
項目コード （旧項目コード）	00Y35 8（OY35 2）：HLA-A（遺伝子型タイピング） 00Y36 7（OY36 0）：HLA-B（遺伝子型タイピング） 00Y37 6（OY37 7）：HLA-C（遺伝子型タイピング） 00Y38 5（OY38 4）：HLA-DRB1（遺伝子型タイピング）
検体量	血液（EDTA-2Na加）2.0 mL
容 器	PN2, PN5（C）
保 存 方 法	冷蔵保存してください
所 要 日 数	3～5日
検 査 方 法	PCR-rSSO法
基準値（単位）	-
報告範囲（単位）	・HLA型（血清対応型） ・推定アレル（遺伝子型の第1区域および第2区域）
桁数	-
検査実施料	
判断料	
備 考	凍 凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。続柄・臨床診断名・投与薬剤名・輸血歴・移植歴は必ず明記してください。HLA検査2項目以上同時依頼の場合は血液2.0mLで検査可能です。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。本検査は、HLA型（血清対応型）と推定アレル（遺伝子型の第1区域および第2区域）の両方を報告いたします。

※ 年内報告可能最終受付日は、12月24日（水）／年内最終受付日は、12月26日（金）となります。

●参考文献

吉川 枝里他：MHC 10（1）：21～31, 2003.（検査方法参考文献）

後藤 香織他：病理と臨床 16（6）：711～716, 1998.（臨床的意義参考文献）